

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 04 05	中期総合計画主要施策番号		3 - 01		担当課	部・課	衛生部健康づくり支援課		
事業名		がん予防推進事業				内線		2636			
						E-mail		kenko@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	・県民の健康保持・増進を図るため、がん予防(予防及び早期発見)に関連する事業を実施する。 ・健康長寿 1の確立のため、がん検診受診率の向上を図る。									
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 県がん対策推進計画において、平成24年度までに検診受診率50%とする目標を掲げているが、現状の受診率(平成19年度国民生活基礎調査)は30%程度という低い状況である。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 検診による早期発見が大切との認識を持ちながら、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」、「費用がかかり経済的にも負担になるから」などの理由から検診を受診しない方が多い。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 2人に1人はがんになると言われる時代であり、がんや検診の情報を提供することにより「自分の健康は自分で守る」という意識を広め、検診を受診していただく必要がある。									
		事業内容	・県民への意識啓発、検診情報のPR ・がん検診受診率向上の行動計画策定 ・がん検診実施体制の推進								
		実施期間	H17 ~		根拠法令等	がん対策基本法、県がん対策推進計画、健康グレードアップながの21					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況			評価	
がんに関する知識の普及及び、検診受診率の向上を図る。 (H24年のがん検診の受診率をそれぞれ50%とする。)		・がんに関する意識啓発を図る。 ・がん検診推進行動計画を策定する。			・健康長寿推進県民大会等において、参加者等1,200人に対して啓発物を配布した。 ・県がん検診推進行動計画を策定した。 (参考)がん検診受診率 (%)			a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)		千円	5,666	4,362	11,217	国庫・県単 国庫・県単				
	決算額 (B)		千円	5,666	4,362		実施方法 直接				
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,225	1,161	6,594	歳出節別内訳等				
	概算人件費	従事する職員数	人	0.30	0.30	0.60	・報酬:244 ・旅費:465 ・役務費:74 ・使用料:130				
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	7,808	6,507	15,506	・報償費:38 ・需用費:492 ・委託費:2,919				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	がん講演会の開催回数		回	5			・健康診査管理指導協議会を4回開催した。 ・広報課と連携した、がん検診等に関するPR(テレビ、ラジオ等)を行った。				
	啓発チラシの配布		枚	8,000		10,000					
	啓発物品の配布		個		1,200						
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明								
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・県がん対策推進計画等において、平成24年度までにがん検診受診率を50%とすることから、検診受診率の向上に向けた取組が求められている。 ・普及啓発に関しては、行政、関係機関のみならず、民間企業と連携した取組も求められている。				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	課題の総括		概ね期待どおりの成果が得られているが、より多くの方に検診の必要性をPRするため、民間企業と連携した普及啓発等を行っていく必要がある。								